

話の詞は、俳諧の種にもならんやいなや、あらぬ事迄拾集て、是をつがはず、まして諸國の名物付合等にも、放埒の類多し、皆用捨有べき事にて、發句付句は犬子集の以後、人の語きかせる爰かしこの句、予が愚なるをもあまた入申侍、みる人目をたつべし、いよく嘲をまねくに似たり、よしよしもとより塵の身なれば、人の詞の玉箒にははき捨られんもさる事ならず、實やか、る悪事は千里を走ると云、しかもことは寛永十五年戊寅の毛を吹て疵をもとめん事うたがひなし、すべて發句の數は行歸る虎のあゆみにひとしく、付句といへば、狐住べき國所の道ののりに同じ、よりて睦月後の五日に、大むね是をしるしをはりぬ、

附 謎

謎ハ、ナゾ、又ハナゾダテト云ヒ、古クハナゾナゾトモ云ヘリ、ナゾトハ、何ゾノ義ニシテ、即チ人ニ問フニ、隱語ヲ寓シタル言語、若シクハ詩歌ヲ以テシ、之ヲ解クモノヲシテ、能ク問者ノ意ニ的中セシムル戲ヲ謂フナリ、謎ニハ又字體ヲ分析シ、或ハ其邊旁ヲ離合シテ判スルモノアリ、之ヲ字謎ト云フ、又歌合ニ倣ヒテ、互ニ優劣ヲ爭フモノアリ、之ヲ謎合ト云フ、後世、繼連歌、謎附、判ジ物等アリ、何レモ皆謎ヨリ出タル遊戲ナリ、

名稱

〔類聚名義抄〕五言謎莫閉反、隱語、カ

〔下學集〕下謎ナゾシテ、迷言也

〔連歩色葉集〕那謎ナゾシテ、立

〔易林本節用集〕奈謎ナゾシテ、言辭

〔書言字考節用集〕八言謎ナゾシテ、玉篇、隱言也 庾詞代辭、古之所謂、庾詞、即今

〔史記〕楚世家、莊王即位三年不出號令、日夜爲樂、令國中曰、有敢諫者死無赦、伍舉入諫、莊王左抱鄭

姬、右抱越女、坐鐘鼓之間、伍舉曰、願有進隱、隱、其意也、曰、有鳥在於阜、三年不蜚不鳴、是何鳥也、莊王曰、